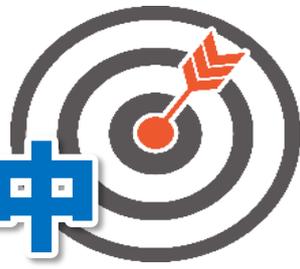


2024 ズバリ! 的中



古文

学習院大学

本文が一致、かつ一部の問いが的中

入試問題

2月11日実施 国際社会科学部・経済学部
三(三)

河合塾

冬期講習 古文総合
補充問題 4問一

【4】次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

今は昔、女院内裏へはじめて入らせおはしましけるに、御屏風どもをせさせ給ひて、歌よみどもに、^A「詠ませ給ひけるに、四月、藤の花おもしろく咲きたりけるひらを、四條大納言あたりて詠み給ひけるに、その日にたて、人々歌ども持てまゐりたりけるに、大納言遅くまゐりければ、御使して、遅きよしをたび仰せられつつかはす。権大納言行成、御屏風まはりて、書くべきよしなし給ひければ、いよいよ^B立ち居待たせ給ふほどに、まゐり給へば、「歌よみども、はかばかしき歌ども、^D女院み出でぬに、さりと」と、誰も心にかりけるに、御前にまゐり給ふや遅きと、殿の、「いかで、あの歌は、遅し」と仰せられければ、「さにはかばかしく仕らす。悪く進りたるむは、まゐらせぬには^E」。歌よみどもがらの、すぐれたらむ中に、はかばかしからぬ歌書かれたらむ、長き名に候ふべし」とやうに、いみじく進れ申し給へど、殿、「あるべき事にあらず。異人の歌なくとも有りなむ、御歌なくは、大方、色紙形を書くまじき事なり」など、まめやかに責め申させ給へば、大納言、ましままに進れ申し給へど、殿あやにくに責めさせ給へば、大納言いみじく思ひわづらひて、懐より、陸奥紙に書き進り給へば、ひろげて前に置かせ給ふに、御殿よりはじめて、そこらの上達部、殿上人、心にくと思ひければ、「さりと、この大納言なくは詠み給はじ」と思ひつつ、いつしか、御殿読み上げ給へば、

(古本説語集)

三 次の文章は、藤原道長(殿)が、娘・彰子(女院)の入内を祝うために屏風を作らせた時の逸話です。これを読んで、後の問題に答えなさい。(配点三十五点)

今は昔、女院内裏へはじめて入らせおはしましけるに、御屏風どもをせさせ給ひて、歌よみどもに詠ませ給ひけるに、四月、藤の花おもしろく咲きたりけるひらを、四條大納言、あたりて詠み給ひけるに、その日にたて、人々歌ども持て参たりけるに、大納言、遅く参りければ、御使して、遅きよしをたび仰せられつつかはす。権大納言行成、御屏風まはりて、書くべきよしをたび仰せられつつかはす。大納言、「さにはかばかしく仕らす。悪く進りたるむは、まゐらせぬには^E」。歌よみどもがらの、すぐれたらむ中に、はかばかしからぬ歌書かれたらむ、長き名に候ふべし」とやうに、いみじく進れ申し給へど、殿、「あるべき事にあらず。異人の歌なくとも有りなむ、御歌なくは、大方、色紙形を書くまじき事なり」など、まめやかに責め申させ給へば、大納言、ましままに進れ申し給へど、殿あやにくに責めさせ給へば、大納言いみじく思ひわづらひて、懐より、陸奥紙に書き進り給へば、ひろげて前に置かせ給ふに、御殿よりはじめて、そこらの上達部、殿上人、心にくと思ひければ、「さりと、この大納言なくは詠み給はじ」と思ひつつ、いつしか、御殿読み上げ給へば、

(古本説語集)による

問一 傍線部A-Dの主語は、それぞれ誰か。次の1-10の組合せの中から最もものを1つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|------|---|-------|---|-------|
| 1 | A | 女院 | B | 権大納言 | C | 殿 | D | 四條大納言 |
| 2 | A | 殿 | B | 女院 | C | 四條大納言 | D | 歌よみども |
| 3 | A | 女院 | B | 権大納言 | C | 歌よみども | D | 殿 |
| 4 | A | 歌よみども | B | 殿 | C | 権大納言 | D | 四條大納言 |
| 5 | A | 殿 | B | 殿 | C | 四條大納言 | D | 歌よみども |

【3】傍線部A「立ち居待たせ給ふ」B「詠みたれ」の主語は誰ですか。もともと適切なものを、次の1-10の中からそれぞれ1つ選んで、解答欄にマークしなさい。ただし、一つの選択肢は一箇所しか入りません。(解答用紙)

- 殿
- 女院
- 四條大納言
- 御使
- 権大納言
- 歌よみども
- 異人
- 永任
- 御殿
- そこらの上達部・殿上人